

令和元年 9 月 22 日

各 位

千葉県理学療法士会 災害対策委員会
上田知成

謹啓 このたびの台風 15 号による災害でライフラインの復旧が遷延し、大変な生活を強いられている皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

台風 15 号による災害支援の第 2 報として 9 月 13 日から 9 月 21 日までの千葉 JRAT 活動の概要をご報告いたします。

敬白

9 月 13 日(金)

千葉 JRAT の活動は県庁で情報収集が主体。JMAT 医師とミーティングや今後の派遣チーム要請に向けて回復期リハ連携の会に打診当行。DMAT は安房地区と君津地区の活動が中心となっており、病院機能低下により他の病院へ移送された患者を戻す(バックトランスファー)要請が入っている。

9 月 14 日(土)

段ボールベッド投入につて DMAT から相談、日赤から避難所にリハ介入の有無の問い合わせ等に対応。特養や老健の状況チェックや避難所のトイレ詰まりについて対応の検討。

9 月 15 日(日)

県と千葉 JRAT の協定発動の進捗を確認しリハニーズがあることが確認できれば発動できると回答を得られる。また DMAT から段ボールベッド投入の為に現地アセスメントの要請があり。安房地区に派遣チームを送る準備を行う。屋根から転落事故が報告され注意喚起のポスターが配布される。

9 月 16 日(月)

千葉県より千葉 JRAT へ正式に派遣依頼が出される。安房地区に千葉 JRAT 派遣チーム 2 隊活動。避難所を巡回しアセスメントを行う。活動性低下の恐れのある要配慮者や下肢を負傷している避難者等あり。清潔・不潔の仕分けが未実施にて環境衛生に課題がある避難所もあり。

9 月 17 日(火)

派遣チームは避難所や在宅の 16 か所に活動。避難所の清潔・不潔エリアについて保健師と協議や、段ボールベッドにニーズ調査、在宅での状況確認、DMAT と共に段ボールベッドの移送等行う。

9 月 18 日(水)

派遣チームは避難所の巡回。避難所の統廃合あり。男女混合部屋で間仕切りのニーズ把握、床で食事を摂っている家族もおり机の設置、パーキンソン病の方のフォロー、雑魚寝状態の避難所に段ボールベッドの設置等行う。一方、膝の痛みがあり起居動作に問題があったが部屋の大きさが狭くベッドの設置が困難な事も。日赤はこの日で活動終了。

9月19日(木)

派遣チームは鋸南町方面と館山市方面の活動を行う。段ボールベッドの設置や備蓄、パーティションの設置、部屋のごみの散乱について情報共有、簡易トイレについて保健所と情報共有等行う。全体的に避難所のリハニーズは低い様子。救急搬送は平常時に落ち着いてきている。地域移行を目指した支援方法の検討が必要となってくる。

9月20日(金)

派遣チームは南房総市と鋸南町、館山市で活動を行う。段ボールベッドの使用状況の確認し歪み等の補正、トイレ環境や手指消毒等衛生状況の確認等実の実施。千葉 JRAT の活動について災害リハニーズが少なくなってきたり終息に向けた調整が必要となる。

9月21日(土)

派遣チームは前日と同じ方面で活動を行う。1か所避難者数は数名～10名程度と減少している。避難所の統廃合も進んでいる。在宅の安否確認も行うもリハニーズは上がらず。9月24日で安房地区保健医療調整本部が閉じられることとなり、千葉 JRAT の活動も終了に向けた活動を進める。

以上

【千葉県理学療法士会会員の皆様へ】

県土会ホームページの「災害対策委員会からのお知らせをご確認ください」の“台風15号の被害について状況報告1.pdf”で情報提供先のアドレスが誤っていました。情報を提供しようとして頂いた方には大変ご迷惑をおかけしました。

大変申し訳ございませんでした。

ご指摘を受けて修正版としてアップさせていただいております。引き続き被害の状況および安否に関する情報がありましたら下記アドレスまでご連絡頂けると幸いです。会費の減免や見舞金の支給があります。

●情報提供先メールアドレス

chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp ⇒



●日本理学療法士協会

会費減免・見舞金等の支給に関する規定

http://www.japanpt.or.jp/upload/japanpt/obj/files/regulation_feeexemption%26socialium_20180725.pdf ⇒

